

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	図書館情報システム整備事業費				
担当課係名	学習資料館 課	学習資料館 係	作成者	高橋眞行美	
総合計画での位置づけ	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画のページ 96
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備			
	主要施策	学習資料館の充実			
予算費目	一般 会計	10 款 教育費	5 項 社会教育費	5 目	学習資料館及びイベント交流館費
事業期間	平成 19 年度 ~ 平成 19 年度		新規 / 継続の区分		継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				
根拠法令等					
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 直営(一部民間委託) <input type="checkbox"/> 民間委託(全部) <input type="checkbox"/> 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民及び地域住民
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	旺盛な学習意欲を持ち、多種多様化かつ高度化した市民のニーズに対して、的確で迅速な資料提供ができるように努める。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	館内の蔵書検索機やHP画面などリニューアルされ使いやすく、利用者の活用が増えている。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標					
	成果指標					
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)				1,323	
	財源内訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源				1,323
	人件費(B)				1,614	
		職員数			0.2	
		職員平均人件費			8,071	
(A) + (B) 投下コスト					2,937	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)					
	市民1人当たりのコスト(円)					94

【事務事業の今までの成果】

システムの再構築・業務用機器の更新により、画面がリニューアルされ、目新しさと使いやすさから貸し出し予約申し込みなどが増える傾向にある。市民の読書意欲の向上と利用者の拡大に努める。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	合併後、管内図書館の整備に向けて、図書館システムの導入及び更新等に努力している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	多様化する利用者の利便性を高める努力をきめ細やかに対応しているので概ね好評である。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続(実施)	現行のシステムの利便性と簡易性をふるに活用して、蔵書点検等の資料管理に着手できる。
	B 見直しの上で継続(実施)	
	C 大幅な見直しの上で継続(実施)	
	D 休止・廃止(統合を含む)を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容(改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。)

【二次評価】

判定	判定に至った理由
A	多様化する利用者の利便性を高めるにも、システムの充実に引き続き努めていただきたい。

